

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 かのん		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別で療育を行っているため、きめ細やかな支援をすることができている。	本人や家族のニーズに即した療育を行うよう工夫している。	その都度必要な支援が行えるよう、本人と保護者と連携強化を図る。
2	相談支援事業も併設しているため、家族支援など質の高い支援が可能である。	職員間で情報共有を行い総合的な支援に取り組む。	各事業と連携し、今後より良い支援が行えるよう取り組んでいく。
3	保育所等訪問支援の併設により、学校等の機関とも協力し、多方面から支えることができる。	療育の担当でない経験豊かな職員が訪問し、色々な見立てのすりあわせをする。	各事業と連携し、今後より良い支援が行えるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の送迎の際に情報共有を行っているが、時間等が限られる。(幼児が待つのに他の職員の対応が要る)	特に必要があれば、情報共有の場を別日に設ける。	保護者との情報共有ができる機会を設けるよう努める。忙しい保護者の妨げにならぬよう、連絡方法を合ったものとする。
2			
3			